土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

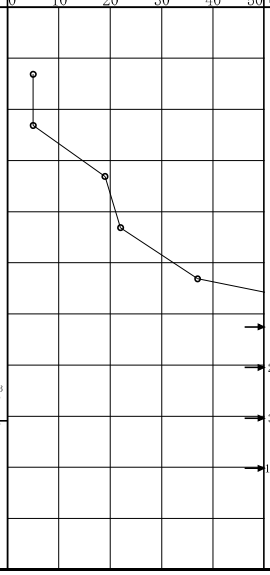
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-3-No.1	**調査位置**	広島県安芸郡熊野町初神地内（三谷川激特堰堤）			**北緯**	34° 22′ 0.5497″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2021年 6月 22日 ～ 2021年 6月 22日	**東経**	132° 35′ 23.9896″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 293.60m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 30°
総削孔長	9.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工業 D1-C48	**エンジン**	ヤンマー NFD-12	**ポンプ** 東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂		褐	rd2		新生代第四紀	0.1mまでは腐葉土である。 礫分は細礫が主体をなす。 大径のものでも10mm程度である。 砂分は中粗砂を主体とする。 全体に少量～中量の細粒分を含み，コアは円形形状をなす。 貫入試料の含水はやや低く，湿った程度である。 均質な感のある地層である。	
2	291.05	2.55									
3	290.10	3.50		玉石混じり砂礫		黄褐	rd3			玉石分はコア長8～21cmで採取される。 硬質である。礫量は多い。 マトリクスは細粒分を伴った中砂を主体とする。	
4	289.15	4.45		礫混じり砂		黄褐	rd3			礫分はφ30mm程度以下であり，細礫分が多い。砂分の粒度分布は良いが，少し細粒に偏った感がある。やや不均質な地層である。	
5	287.60	6.00		花崗岩強風化土		淡黄灰			中生代白亜紀	花崗岩の強風化土（砂質土）。土棒状コアを呈し，軽い指圧で崩れる。もみほぐした試料は砂状である。割れ目は痕跡を含めて完全に消失する。5.45m以深のコア試料，変質により白濁化している。IV級。	
6	286.60	7.00		強風化花崗岩		黄灰				花崗岩の強風化部（軟岩I）。コアの見掛けに大きな変化はないが，指圧した際に割裂するように崩れる(いきなり土砂状になるのではない)。もみほぐした試料は細礫～中礫状である。IV級。	06/23 8.09
7											
8	284.60	9.00		強風化花崗岩		灰白				花崗岩の風化部（軟岩I）。全体に変質細脈の貫入を認め，白濁化がやや顕著である。コアは半固結～固結した短柱状を呈する。岩質は，半固結状の区間が軟質で，固結した区間は脆い。8m付近まで風化がやや強い。孔底まで新鮮岩の出現は見ない。孔内水位は掘削終了翌日の観測値である。CI級。	
9											
10											

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	1	2	2	5/300		
	1.45						
5	2.15	1	2	2	5/300		
	2.45						
19	3.15	5	4	10	19/300		
	3.45						
22	4.15	7	7	8	22/300		
	4.45						
37	5.15	9	13	15	37/300		
	5.45						
83	6.15	24	26		50/180	180	
	6.33		80				
214	7.00	50/70			50/70	70	
	7.07						
300	8.00	50/50			50/50	50	
	8.05						
1500	9.00	50/10			50/10	10	
	9.01						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					6/22